

第2回新庄川橋架替事業設計施工検討委員会

令和6年8月21日(水)10:00~11:30
富山県防災危機管理センター 2F 中会議室

<結果 (議事概要) >

委員からは主に以下のご意見をいただき、これらの意見を踏まえて見直しの作業を進め、事務局案がまとまった段階で第3回検討委員会を開催する。

- 基礎の見直しについて
 - ・地質調査にて適切にサンプリングすることが不可能な箇所地の盤定数については、各層や上層で適切にサンプリングできた箇所の値やばらつき等も考慮して、安全側になるように総合的に判断して決める必要がある。
 - ・基礎形式の見直しについては、基礎を構築するために必要な仮設が実施可能かどうかとあわせて検討する必要がある。

- 仮設の見直しについて
 - ・仮設工法の検討にあたっては、出水期、非出水期の流量に応じた検討が必要である。
 - ・また、既設橋の劣化状況、軟弱な地盤等にも注意して、想定する荷重に対して仮設が安全な状態であることを実現できるように検討する必要がある。

- 今後の進め方について
 - ・橋梁形式の見直しにあたっては、道路と軌道の併用橋であることから、検討の手戻りを防ぐために、たわみの制限値や維持管理の条件などについては、早めに整理しておくとい。